

令和5年度

# 「薬物依存症支援者研修会」

薬物依存症のご相談に携わる支援者向けに研修会を開催します。

薬物依存症は、環境や状況によって誰しもがなる可能性がある一方で、まだまだ誤解や偏見の多い病気です。そうした依存症や回復について正しい理解や知識を深め、依存症を抱える方が今より生きやすくなるためにどのような回復支援ができるか講師の先生方と一緒に考えてみませんか。

また、直接依存症支援には関わっていないけれども、依存症について学びを深めたい支援者のみなさまも是非ご参加ください。各回定員がありますので、お早めにお申し込みください。

## 開催概要

※単発受講が可能です

### 第1回 「木津川ダルクでの依存者回復支援」

日時

令和5年10月31日(火) 14:00～16:00

(講演 + 意見交換・質疑応答)

講師

一般社団法人回復支援の会 木津川ダルク代表 加藤 武士 氏

開催形式

対面 (京都府精神保健福祉総合センター体育室)

定員

20名程度 (先着順)

### 第2回 「薬物使用障害と小児期逆境体験」

日時

令和5年11月21日(火) 15:30～17:00

(講演 + 質疑応答含む)

講師

地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立精神医療センター副院長  
小林 桜児 氏

開催形式

オンライン開催 (ZOOM 回線を使用) ※事前申込者のみオンデマンド配信有

定員

50名程度 (先着順)

対象

京都府内在住、在勤の薬物依存症相談支援従事者、関係機関職員等

申込

右のQRコードからお申し込みください。

〈第1回〉【申込期間 令和5年9月8日(金)～10月27日(金)】

〈第2回〉【申込期間 令和5年9月8日(金)～11月14日(火)】



## 講師コメント紹介

### 第1回 加藤 武士 先生

#### 「木津川ダルクでの依存者回復支援」

薬物依存からの回復は、当事者とその家族にとって重要な過程です。この重要なテーマについての洞察を深め、支援を提供するための方法について学ぶ機会を提供します。講演では、木津川ダルクでの相談の現状、薬物依存の根本的な要因、回復プロセス、支援方法、そして成功事例に焦点を当て、健康で前向きな未来を築くための重要な情報と洞察を提供します。

薬物依存という問題について正確な情報を共有し、偏見や誤解を取り除きます。また、回復過程での困難や障害に対処する方法についても探求します。

講演の目的は、薬物依存者の支援に関わり、そして関心を持つすべての方々に、持続的な回復への道を示し、共感と支援の在り方を提供することです。

ぜひ、共に学び、回復支援の重要性を共有しましょう。

### 第2回 小林 桜児 先生

#### 「薬物使用障害と小児期逆境体験」

薬物使用障害は早ければ中学生年齢頃から発症し、最近では高齢の方も不眠を契機に睡眠薬に依存することがある、幅広い年齢層で見られる精神疾患です。

従来は、好奇心から薬物に手を出すと、脳が障害されて止められなくなる、という説明がなされていましたが、実際の臨床現場では、患者さんに「あなたは脳の障害を患っています」と説明しても、残念ながら患者さんは素直に断薬してくれません。薬物がどれほど心身に害があるか、ただ単に情報提供するだけでは、薬物乱用防止効果はありません。

アルコールやギャンブルと同様に、なぜ薬物に対する依存も止めることが難しいのか、どのように接し、説明したら患者さんやご家族にそれが心の病であることを自覚してもらいやすくなるのか、薬物使用障害は典型的にはどのように治療し、回復していくものなのか、概要をご説明したいと思います。

#### 主催・問い合わせ先

京都府精神保健福祉総合センター（吉村・山口・菊池） TEL 075-641-1810  
FAX 075-641-1819